

JP 63-129725

A one-way clutch in which on the inner peripheral surface of an outer ring a shaft path for a roller bearing and a shaft path for a one-way clutch are formed, a shaft path for a roller bearing is formed on the outer perimeter of an inner ring that engages with one roller bearing shaft via a rolling body for a roller bearing, a shaft path for a one-way clutch is formed on the outer periphery of another inner ring that faces said one inner ring and comes in contact therewith at end its end surface, and between the inner and outer shaft paths rolling bodies for a one-way clutch are arrayed, wherein:

An annular seal to be fitted on said roller bearing side is fitted on both sides of the outer ring, or one annular seal is fitted on the outer ring side and the other annular seal is fitted on the inner ring side.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-129725

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)8月24日

F 16 D 41/06
F 16 C 19/06
33/58
33/78

8211-3J
6718-3J
7617-3J
Z-7617-3J

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 ワンウェイクラッチ

⑯ 実 願 昭62-22138

⑰ 出 願 昭62(1987)2月19日

⑱ 考 案 者 柳 田 五 郎 静岡県浜松市山手町22番地10号

⑲ 考 案 者 大 隈 憲 治 神奈川県藤沢市鶴沼桜が岡3-1-1-301

⑳ 出 願 人 日本精工株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目3番2号

㉑ 代 理 人 弁理士 中山 輝三

㉒ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 外輪の内周面に転がり軸受用軌道とワンウェイクラッチ用軌道が形成され、一方の転がり軸受用転動体を介して嵌合される内輪の外周には転がり軸受用軌道が形成され、該内輪に向い合い、かつ、その端面で接する他方の内輪の外周にはワンウェイクラッチ用軌道が形成されると共に内外軌道間にはワンウェイクラッチ用転動体が配列されてなるワンウェイクラッチにおいて、該転がり軸受側に装着される環状シールが外輪の両サイドあるいは環状シールの一方が外輪側、他方が内輪側に装着されていることを特徴とするワンウェイクラッチ。
- (2) 実用新案登録請求の範囲第1項記載のワンウェイクラッチにおいて、転がり軸受側に装着した環状シールにより、ワンウェイクラッチ部と

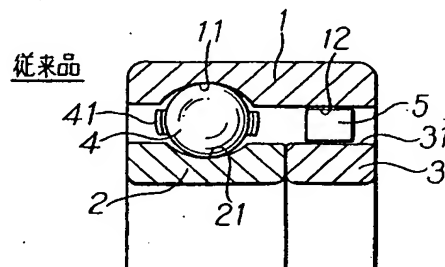
転がり軸受部が別室構造に形成されているもの。

図面の簡単な説明

第1図は本考案ワンウェイクラッチの縦断正面図、第2図は第1図から外輪並びに保持器を取除いたワンウェイクラッチの右側面図、第3図は本考案の他の実施例を示す縦断正面図、第4図は従来のワンウェイクラッチの縦断正面図である。

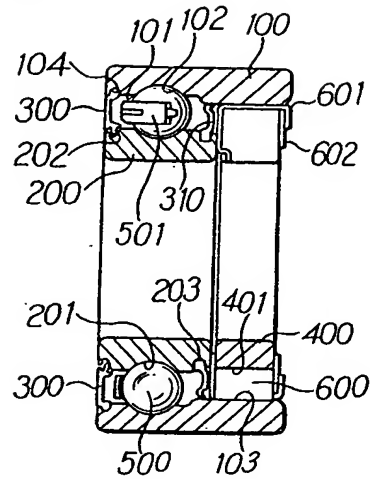
符号の説明、100……外輪、101……外輪の内周、102……転がり軸受用球面軌道、103……ワンウェイクラッチ用平滑軌道、200……転がり軸受側の内輪、201……内輪の球面軌道、300、301……環状シール、400……ワンウェイクラッチ側の内輪、401……ワンウェイクラッチ用軌道、500……球、600……ころ。

第4図

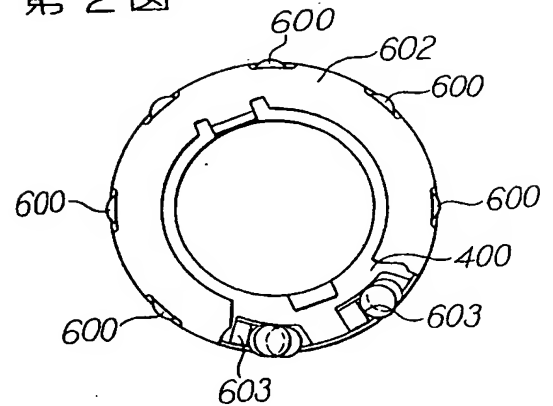


実開 昭63-129725(2)

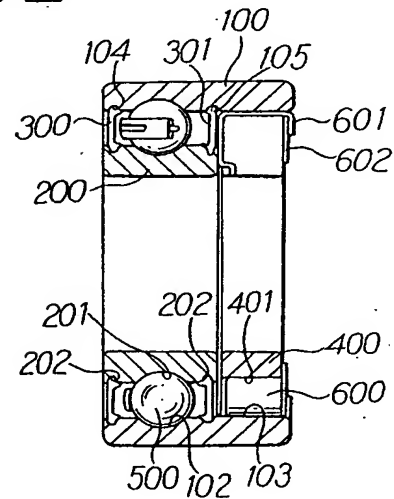
第1図



第2図



第3図



補正 昭62. 3. 19

実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

㊦実用新案登録請求の範囲

- (1) 外輪の内周面に転がり軸受用軌道とワンウェイクラッチ用軌道が形成され、一方の転がり軸受用軌道に転がり軸受用転動体を介して嵌合される内輪の外周には転がり軸受用軌道が形成され、該内輪に向い合い、かつ、その端面で接する他方の内輪の外周にはワンウェイクラッチ用軌道が形成されると共に内外軌道間にはワンウ

エイクラッチ用転動体が配列されてなるワンウェイクラッチにおいて、該転がり軸受側に装着される環状シールが外輪の両サイドあるいは環状シールの一方が外輪側、他方が内輪側に装着されていることを特徴とするワンウェイクラッチ。

- (2) 実用新案登録請求の範囲第1項記載のワンウェイクラッチにおいて、転がり軸受側に装着した環状シールにより、ワンウェイクラッチ部と転がり軸受部が別室構造に形成されているもの。